

令和元年度 沖縄県立八重山農林高等学校 学校評価 【学校関係者評価】

I 学校教育目標（教育方針）

- 1 自他の生命と人格を尊重・敬愛する精神と自ら学ぶ意欲と態度を育てる。
- 2 基礎的・基本的な知識や技術の習得を図り、進路を主体的に学ぶ意欲と態度を育てる。
- 3 「愛郷愛土」の文化と伝統の継承に努める態度と「誠実・創造・実践」を体現できる技術の育成を図る。
- 4 社会や環境の変化に柔軟に対応したキャリア教育と安全教育の推進に努める。
- 5 国際化・情報化社会及び地域産業の発展に主体的に寄与する献身の精神とコミュニケーション能力および豊かな心の育成を図る。
- 6 個々の持ち味を活かすユニバーサル・デザイン化の職業観・勤労観の育成を図る。

II 今年度の学校経営目標（経営方針）

- 1 全職員の教育的実現を通して、調和のとれた学校経営に努める。
- 2 教育目標の具現化を図る各学科・系列・コース制の教育計画推進と検証に努める。
- 3 PDCAサイクルを確立し、「探求・開発」教育に努め、生徒個々の進路を保障する学校づくりに努める。
- 4 教職員の資質・力量を高めるために教職員研修の充実に努める。
- 5 学習環境を整備し、施設・設備等の教育条件の充実に努める。
- 6 学校・家庭・同窓・地域社会との密接な連携を図り、生徒の健全育成に努める。

III 評価

評価項目	具体的目標	評価の観点	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない				自己評価	今年度の課題点	学校関係者評価	学校関係者からの要望等	
				A	B	C	D					←好評価 グラフ 低評価→
1	自己実現が図れる生徒の育成	豊かな人間性を培う教育をしている	令和元年	24	29	0	0		B	・分業や教科を超えた多方面からの連携した生徒支援の強化。 ・八重山地域の環境特性や伝統などを踏まえ、地域に根ざした教育活動の意義についての職員の共通理解。 ・生徒数減に伴う職員数減により、職員1名あたりの負担の増加。 ・保健室利用の多さなどから、基礎体力の向上が必要。 ・キャリア教育の年間計画の策定と学校全体の活動としての取り組み。	A	・芸能人を招いての先日のテレビ内容を見て感動した。豊かな人間性を育成している環境がある。 ・国もやっと働き方に目を向けましたが先生方の働きやすい働きがいのある職場づくりにしてください。 （労働衛生環境の充実） ・保健室の利用の多さは目につきますが利用する生徒の外的・内的分析も必要かと思えます。養護の先生の負担加重が気になります。
			平成30年	18	15	0	0					
		令和元年	27	24	2	0						
		平成30年	17	15	1	0						
		令和元年	10	35	7	1						
		平成30年	5	26	2	0						
2	教育目標の実現に向けた教育計画の推進	授業時数が確保され、充実した学習指導を実施している	令和元年	7	40	6	0		B	・ASとATの設置目標と具体的な取り組みについて再考と学科改編の取組について成果と課題の検証が必要。 ・AS・AT系列の目的や仕組みについて中学生や保護者、中学校職員らへの周知。 ・育てたい生徒像を具現化するためにも学科でも育成する生徒像の設定を行い、教育課程の編成において必要な教科・科目、授業内容の精選を検討。	A	・特色のある学校である。 ・学科改編の根本的な部分で会社には難しい問題です。しかし、高度情報化グローバル化の国際社会に突入している現在、絶えず成果と課題を検証し、生徒に生きた学力保障を要望します。 ・生徒の未来は際限なく広く、そのために先生方のご苦労も大変だと思います。極めて個人的な考えですがAS・AT系列については、やはり早急な見直しを求めたいです。何より普遍性を有する各教科の学習成果が求められます。
			平成30年	4	26	3	0					
		令和元年	35	17	1	0						
		平成30年	23	10	0	0						
		令和元年	24	25	3	1						
		平成30年	22	11	0	0						
3	「わかる授業」「参加する授業」を通した確かな学力の定着	学力の向上が図られている	令和元年	7	34	10	2		B	・基礎学力の学び直しについて、学科教科ともに課題と目標を共有して対処できる体制作り。 教科横断、科目横断的な指導を工夫による基礎学力の養成 ・は喫緊の課題だと思ふ。 ・教科指導以外の領域における業務内容見直し。 ・「落ち着いた学習環境づくり」は大きな課題。 ・学科の専科と普通教科とのつながりを意識した横断的な学びのカリキュラムの確立。 ・学び直しが必要な生徒がおり学力向上の対策が必要。	A	・やはり「読み・書き・そろばん」と言われる基礎学力の向上は基本だと思います。小中で何らかの理由でつまづいた生徒もいるでしょうが、本校の先生方は指導の改善を工夫されて頑張っておられることに敬意を表します。 ・これまで落ち着きのない生徒に学習環境が破壊される事は授業を進める上で問題です。小中では支援員制度があります。 ・県学力向上政策が30年以上もあるが、未だ学力格差は大きいですね。先生方も大変でしょうが、やはり基礎基本なくては進めないのがはばっててください。
			平成30年	3	25	5	0					
		令和元年	15	35	3	0						
		平成30年	7	24	2	0						
		令和元年	16	33	4	0						
		平成30年	11	21	1	0						
4	自ら学ぶ意欲と態度を育成並びに自己解決能力の修得	科目「課題研究」に熱心に取り組んでいる	令和元年	23	28	2	0		B	・学習意識の低い生徒への指導やアプローチが課題。 ・科目「課題研究」の土台である、主体性（生徒が決めて、生徒が実行する、職員はサポートをする）が身につけていない生徒が多い。 ・職業観・勤労観を育てているが、そのために必要な学習等を自ら学ぶというよりは、他人任せな面が見られる。	A	・発達年齢に応じた基礎学力は社会に対する興味や関心とも相関関係にあると思います。本校の生徒にはその点が欠落した子が多いかもしれないませんが、左記3点の取り組みを常に意識されて、生徒一人ひとりの課題として重点的なご指導をお願いします。
			平成30年	23	29	6	2					
		令和元年	8	37	7	1						
		平成30年	6	21	6	0						

評価項目	具体的目標	評価の観点	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない				自己評価	今年度の課題点	学校関係者評価	学校関係者からの要望等
				A	B	C	D				
5 特別活動	望ましい集団活動を通じた心身の調和のとれた発達と個性の伸長	学級活動の充実が図られている	令和元年	13	31	8	1		B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学園祭等活動内容は高く評価できます。 ・思い出に残る学生時代の活動に部活動は重要な位置を占めるとしています。アルバイトを減らし部活動をすすめたい。 ・やはり週1度のLHRはそのクラスの情報と交換の大事な場だと思います。その確保に努めてほしいです。ぜひ自主的研修の場を持っていただきその成果を生徒へ還元してください ・生徒会や農業クラブは生徒の自主的活動の育成及びボトムアップの重要性、ひいては民主主義のトレーニングの場だと考える。 ・職員会議で否決された場合はその理由を生徒が納得し得るまで説明する責任を教師は自覚してほしい。 ・地域ボランティアの活躍も考慮されてはいかがですか。
			平成30年	6	22	5	0				
		生徒会の活性化が図られている	令和元年	8	36	9	0				
			平成30年	14	17	2	0				
		部活動の活性化が図られている	令和元年	8	22	18	5				
			平成30年	6	13	13	1				
6 生徒支援	個々の生徒に対応できる支援体制の確立	基本的な生活習慣の確立に向けた指導が充実している	令和元年	10	31	11	1		A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣について学校全体での強化が必要。 ・PTA活動に参加する保護者層の拡大。 ・生活習慣（携帯電話の取り扱い、就寝時間、食生活、アルバイトの管理）について保護者との連携した指導。
			平成30年	8	20	5	0				
		保護者、地域と連携した生徒指導である	令和元年	21	30	2	0				
			平成30年	14	19	0	0				
		いじめの早期発見・未然防止に努めている	令和元年	29	24	0	0				
			平成30年	25	8	0	0				
		体罰のない指導に努めている	令和元年	43	10	0	0				
			平成30年	30	3	0	0				
7 進路支援	生徒個々の適切な進路選択に対する支援体制の確立	早期決定に向け、組織的な取り組みがなされている	令和元年	32	17	3	1		A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・進路決定に向けての保護者面談の実施。 ・1学年からの進路支援の充実。 ・必要書類の作成や面接対策、就職試験対策等において、他人任せな面もあり、自分のことは自分でやるという意識を持たせるための関わり方の工夫が必要。
			平成30年	14	18	1	0				
		生徒並びに保護者へ進路に関する情報提供がなされている	令和元年	23	29	1	0				
			平成30年	11	19	3	0				
8 健康・安全指導	生命の尊重と健康に対する意識の高揚	健康教育の推進が図られている	令和元年	23	28	1	1		B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の運転マナーや歩きスマホについての指導の強化が必要。
			平成30年	18	12	3	0				
		安全教育の徹底が図られている	令和元年	24	25	3	1				
			平成30年	15	15	2	1				

令和元年度 県立八重山農林高等学校 学校評価（評議員評価）

4名回答

質問事項	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない E=わからない					←好評価 グラフ 低評価→		+	-
		A	B	C	D	E	%			
1 学校では学習の基礎的・基本的な事項の定着に努めている	令和元年	4	0	0	0	0	100% 0%		100%	0%
	平成30年	4	0	0	0	0	100% 0%		100%	0%
2 学校は、生徒の様子や行事等について保護者に情報提供している	令和元年	2	1	0	0	1	50% 25% 0% 25%		75%	0%
	平成30年	3	1	0	0	0	75% 25% 0%		100%	0%
3 特色ある学校づくりが行われている	令和元年	4	0	0	0	0	100% 0%		100%	0%
	平成30年	4	0	0	0	0	100% 0%		100%	0%
4 学科改編により学校の雰囲気良くなった	令和元年	1	3	0	0	0	25% 75% 0%		100%	0%
	平成30年	3	1	0	0	0	75% 25% 0%		100%	0%
5 学校ホームページやマスコミ報道等により学校の情報が発信されている	令和元年	3	1	0	0	0	75% 25% 0%		100%	0%
	平成30年	4	0	0	0	0	100% 0%		100%	0%
6 学校は、校舎内外の環境整備に努めている	令和元年	3	0	0	0	1	75% 0% 25%		75%	0%
	平成30年	4	0	0	0	0	100% 0%		100%	0%
7 学校の教育活動について、保護者への周知が図られている	令和元年	2	1	0	0	1	50% 25% 0% 25%		75%	0%
	平成30年	4	0	0	0	0	100% 0%		100%	0%
8 教職員は、学習及び生徒指導等において厳しく指導している	令和元年	2	1	0	0	1	50% 25% 0% 25%		75%	0%
	平成30年	0	3	1	0	0	0% 75% 25% 0%		75%	25%
9 教職員は、生徒の実態を良く理解して指導にあたっている	令和元年	4	0	0	0	0	100% 0%		100%	0%
	平成30年	1	2	1	0	0	25% 50% 25% 0%		75%	25%
10 生徒への学校生活全般にわたる指導が日常生活においても生かされている	令和元年	1	2	0	0	1	25% 50% 0% 25%		75%	0%
	平成30年	1	2	1	0	0	25% 50% 25% 0%		75%	25%
11 学校としていじめを許さない体制づくりに努めている	令和元年	4	0	0	0	0	100% 0%		100%	0%
	平成30年	4	0	0	0	0	100% 0%		100%	0%
12 学校は、体罰はしない、させないという雰囲気がある。	令和元年	2	1	0	0	1	50% 25% 0% 25%		75%	0%
	平成30年	3	1	0	0	0	75% 25% 0%		100%	0%
13 学校は、家庭や地域との連携をとり、生徒をよく指導している	令和元年	2	1	0	0	1	50% 25% 0% 25%		75%	0%
	平成30年	2	2	0	0	0	50% 50% 0%		100%	0%
14 学校は、生徒・保護者・地域の願いをくみ取って教育活動を行っている	令和元年	3	0	0	0	1	75% 0% 25%		75%	0%
	平成30年	2	1	1	0	0	50% 25% 25% 0%		75%	25%
15 学校は、保護者や地域の人々に学校施設を開放している	令和元年	1	1	0	0	2	25% 25% 0% 50%		50%	0%
	平成30年	2	1	1	0	0	50% 25% 25% 0%		75%	25%

質問事項	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない E=わからない					←好評価 グラフ 低評価→		+	-		
		A	B	C	D	E						
16 学校は、地域の人材を活用し魅力的な教育活動を行っている	令和元年	4	0	0	0	0	100% 0%		100%	0%		
	平成30年	1	2	1	0		25%	50%	25%	0%	75%	25%
17 学校のPTA活動が、保護者と協力して行われている	令和元年	2	1	0	0		67%	33%	0%	100%	0%	
	平成30年	2	2	0	0		50%	50%	0%	100%	0%	
18 学校の様々な行事に、保護者や地域の人が参加している	令和元年	4	0	0	0	0	100% 0%		100%	0%		
	平成30年	3	0	1	0		75%	0%	25%	0%	75%	25%
19 担任の先生以外の職員に対して気軽に話ができる雰囲気がある	令和元年	3	0	0	0	1	75%	0%	25%	75%	0%	
	平成30年	2	1	1	0		50%	25%	25%	0%	75%	25%
20 家庭では、しつけや基本的な生活習慣に注意を払っている	令和元年	1	1	0	0	2	25%	25%	0%	50%	50%	0%
	平成30年	1	3	0	0		25%	75%	0%	100%	0%	
21 学校は、様々な徴収金について、その用途や決算について説明責任を果たしている	令和元年	2	0	0	0	2	50%	0%	50%	50%	0%	
	平成30年	3	1	0	0		75%	25%	0%	100%	0%	

【その他、学校への意見や要望等】

思春期で敏感な分、些細なことから自信喪失やいじめ等発生することもあると思いますが、今後とも全生徒が快適で良い思い出となる学校生活を送れるようお願いします。現在の先生方の取り組みは素晴らしい、感謝しています。2019年（令和元年）の本校の生徒はあらゆる分野において素晴らしい成績を挙げてくれました。まさに文武両道（文化面、スポーツ面）において黄金期を成したと言っても過言ではありません。それも偏に生徒の主体性を重視した教職員の先生方の御指導はもとより、保護者、地域の協力があってのことだと思います。

令和元年度 県立八重山農林高等学校 学校評価（保護者評価）

83名回答

質問事項	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない E=わからない					←好評価 グラフ 低評価→		+	-	
		A	B	C	D	E	%				
1 学校では学習の基礎的・基本的な事項の定着に努めている	令和元年	31	39	2	0	11	37%	47%	16%	84%	2%
	平成30年	41	49	3	0		44%	53%	3%	97%	3%
2 学校は、生徒の様子や行事等について保護者に情報提供している	令和元年	40	30	8	4	1	48%	36%	10% 5%	84%	14%
	平成30年	38	45	10	0		41%	48%	11% 0%	89%	11%
3 特色ある学校づくりが行われている	令和元年	55	23	4	0	1	66%	28%	5% 0%	94%	5%
	平成30年	55	36	2	0		59%	39%	2% 0%	98%	2%
4 学科改編により学校の雰囲気良くなった	令和元年	33	26	7	0	17	40%	31%	8% 21%	71%	8%
	平成30年	39	49	5	0		42%	53%	5% 0%	95%	5%
5 学校ホームページやマスコミ報道等により学校の情報が発信されている	令和元年	33	36	8	0	6	40%	43%	10% 1%	83%	10%
	平成30年	40	49	4	0		43%	53%	4% 0%	96%	4%
6 学校は、校舎内外の環境整備に努めている	令和元年	41	27	8	2	5	49%	33%	10% 2%	82%	12%
	平成30年	48	42	3	0		52%	45%	3% 0%	97%	3%
7 学校の教育活動について、保護者への周知が図られている	令和元年	23	42	10	3	5	28%	51%	12% 4%	78%	16%
	平成30年	32	50	10	1		34%	54%	11% 1%	88%	12%
8 教職員は、学習及び生徒指導等において厳しく指導している	令和元年	27	42	9	0	5	33%	51%	11% 0%	83%	11%
	平成30年	38	47	8	0		41%	51%	9% 0%	91%	9%
9 教職員は、生徒の実態を良く理解して指導にあっている	令和元年	21	47	6	4	5	25%	57%	7% 5%	82%	12%
	平成30年	30	57	6	0		32%	61%	6% 0%	94%	6%
10 生徒への学校生活全般にわたる指導が日常生活においても生かされている	令和元年	24	43	6	3	7	29%	52%	7% 4%	81%	11%
	平成30年	24	62	7	0		26%	67%	8% 0%	92%	8%
11 学校としていじめを許さない体制づくりに努めている	令和元年	24	40	5	1	13	29%	48%	6% 4%	77%	7%
	平成30年	29	57	7	0		31%	61%	8% 0%	92%	8%
12 学校は、体罰はしない、させないという雰囲気がある。	令和元年	32	27	5	3	16	39%	33%	6% 4%	71%	10%
	平成30年	35	51	7	0		38%	55%	8% 0%	92%	8%
13 学校は、家庭や地域との連携をとり、生徒をよく指導している	令和元年	26	41	7	3	6	31%	49%	8% 4%	81%	12%
	平成30年	36	50	7	0		39%	54%	8% 0%	92%	8%
14 学校は、生徒・保護者・地域の願いをくみ取って教育活動を行っている	令和元年	23	43	6	0	11	28%	52%	7% 0%	80%	7%
	平成30年	37	49	7	0		40%	53%	8% 0%	92%	8%
15 学校は、保護者や地域の人々に学校施設を開放している	令和元年	34	37	2	0	10	41%	45%	7% 0%	86%	2%
	平成30年	47	38	8	0		51%	41%	9% 0%	91%	9%

質問事項	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない E=わからない					←好評価 グラフ 低評価→		+	-		
		A	B	C	D	E						
16 学校は、地域の人材を活用し魅力的な教育活動を行っている	令和元年	30	38	5	0	10	41%	52%	7%	4%	93%	7%
	平成30年	43	45	5	0		46%	48%	5%	0%	95%	5%
17 学校のPTA活動が、保護者と協力して行われている	令和元年	24	42	4	1		34%	59%	6%	1%	93%	7%
	平成30年	43	44	6	0		46%	47%	6%	0%	94%	6%
18 学校のような行事に、保護者や地域の人が参加している	令和元年	33	42	6	0	2	41%	52%	7%	4%	93%	7%
	平成30年	24	28	7	1		40%	47%	12%	2%	87%	13%
19 担任の先生以外の職員に対して気軽に話ができる雰囲気がある	令和元年	29	42	6	2	4	37%	53%	8%	5%	90%	10%
	平成30年	15	21	16	8		25%	35%	27%	13%	60%	40%
20 家庭では、しつけや基本的な生活習慣に注意を払っている	令和元年	28	48	7	0	0	34%	58%	8%	0%	92%	8%
	平成30年	19	18	15	8		32%	30%	25%	13%	62%	38%
21 学校は、様々な徴収金について、その用途や決算について説明責任を果たしている	令和元年	29	49	1	1	3	36%	61%	1%	3%	98%	3%
	平成30年	20	21	13	6		33%	35%	22%	10%	68%	32%

【その他、学校への意見や要望等】

- ・部活でのけがなどちゃんと連絡いただけたら、ありがたいです。
- ・一部父母のみでの行事参加になっている。自分は関係ないと生徒の学校生活、PTA活動に興味のない親が多く感じる。
- ・中学校への学校アピールに力を入れてみてはと思います。
- ・校長先生をはじめ、先生方のご指導のお陰で、娘は充実した高校生活3年間を過ごす事が出来ました、心より感謝いたします。
- ・地元に着き、共にあゆむ八重山農林高校の教育スタイルが末長く続いて行く事を願っています。私たち時代の農林高校とはだいぶ様変わりしてます。
- ・部活動の仕組みがいまいちわからない。基本1つなのか、複数していいのか？子供は分かっているけど、親の私が知らないだけなのか？いろいろ参加してみたいのですが、どこにも所属はしてないみたいですが。積極的に楽しく参加するのでそこは良いことだと思ってます。
- ・学校行事も地域参加型で、生徒以外からすると、敷居が高く入りにくいイメージが、全然変わりました。本人も、とても充実した毎日をご過ごさせていただいております。
- ・進路に関する情報開示や提示、相談など、今後に関しての、生徒との一対一での相談を設けてもらえるとうれしいです。
- ・保護者よりも話しやすいこともあると思うので宜しくお願いします
- ・子供への心配事に担任の先生は細かく対応してくださって助かってます。授業参観のとき、参加型(紅芋パン作り)だったのでとても思い出に残っています。
- ・八重農市、毎回家族で楽しみにしています。
- ・FF0の発表会素晴らかったです。一昨年息子が県大会に行く機会があったので感謝しています。
- ・ホームページをあまりみることがなく、「わからない」の多い回答になってしまったのでホームページで情報を得たり ことにおたよりがないかどうかの確認もしていこうと思いました。
- ・学校から帰ってきてから、1日として机に向かって勉強している姿を今だ見ておりません。スマホゲームに没頭。親としても頭が痛いです。成績表の見方が今一つ理解できません。解説が欲しいです。

令和元年度 県立八重山農林高等学校 学校評価（生徒評価）

209名回答

評価項目	評価の観点	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない				←好評価 グラフ 低評価→				+	-
			A	B	C	D	好評価		低評価			
1 学校生活について	学校に行くのが楽しい	令和元年	98	80	24	7	47%	38%	11%	3%	85%	15%
		平成30年	17	25	13	5	28%	42%	22%	8%	70%	30%
	ホームルームの雰囲気が良い	令和元年	100	84	20	5	48%	40%	10%	2%	88%	12%
		平成30年	24	23	8	5	40%	38%	13%	8%	78%	22%
	農業祭、運動会、農業クラブ大会、球技大会など学校行事が楽しみである	令和元年	110	68	20	11	53%	33%	10%	5%	85%	15%
		平成30年	19	33	5	3	32%	55%	8%	5%	87%	13%
	生徒会や部活動が盛んで楽しい	令和元年	52	85	48	24	25%	41%	23%	11%	66%	34%
		平成30年	15	20	22	3	25%	33%	37%	5%	58%	42%
	校舎内外やトイレ等の清掃が丁寧できれいな学校である	令和元年	18	83	83	25	9%	40%	40%	12%	48%	52%
		平成30年	10	21	21	8	17%	35%	35%	13%	52%	48%
	あいさつが良く、元気のある学校である	令和元年	58	103	39	9	28%	49%	19%	4%	77%	23%
		平成30年	19	30	8	3	32%	50%	13%	5%	82%	18%
友人がたくさんできた	令和元年	108	75	18	8	52%	36%	9%	4%	88%	12%	
	平成30年	24	25	11	0	40%	42%	18%	0%	82%	18%	
学校は、生活指導や服装指導がよくなされている	令和元年	72	107	23	7	34%	51%	11%	3%	86%	14%	
	平成30年	24	30	5	1	40%	50%	8%	2%	90%	10%	
学科改編により、学校の雰囲気が良くなった	令和元年	81	95	25	8	39%	45%	12%	4%	84%	16%	
	平成30年	22	29	7	2	37%	48%	12%	3%	85%	15%	
いじめや暴力は許さないという雰囲気がある	令和元年	64	95	38	12	31%	45%	18%	6%	76%	24%	
	平成30年	23	29	6	2	38%	48%	10%	3%	87%	13%	
2 学習面について	何を学習するか、いつも課題を持って学習に臨んでいる	令和元年	49	98	48	14	23%	47%	23%	7%	70%	30%
		平成30年	11	34	12	3	18%	57%	20%	5%	75%	25%
	授業はわかりやすく楽しい	令和元年	59	123	21	6	28%	59%	10%	3%	87%	13%
		平成30年	14	28	15	3	23%	47%	25%	5%	70%	30%
	集中して授業を受けることができる	令和元年	52	122	30	5	25%	58%	14%	2%	83%	17%
		平成30年	15	30	14	1	25%	50%	23%	2%	75%	25%
	授業では実験や実習など体験的な授業が多くある	令和元年	113	72	21	3	54%	34%	10%	1%	89%	11%
		平成30年	25	28	7	0	42%	47%	12%	0%	88%	12%
	将来の進路に結びついた授業をしている	令和元年	74	94	30	11	35%	45%	14%	5%	80%	20%
		平成30年	18	27	10	5	30%	45%	17%	8%	75%	25%

評価項目	評価の観点	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない				←好評価 グラフ 低評価→		+	-
			A	B	C	D				
3 環境・美化について	清掃には必ず参加している	令和元年	77	108	23	1		89%	11%	
		平成30年	22	29	7	2		85%	15%	
	ゴミはきちんと分別してゴミ箱に捨てられている	令和元年	126	75	6	2		96%	4%	
		平成30年	35	21	3	1		93%	7%	
	学校の施設や農場はよく整っている	令和元年	95	93	13	8		90%	10%	
		平成30年	24	28	7	1		87%	13%	
4 教師について	先生には、何でも気軽に相談できる	令和元年	57	84	40	28		67%	33%	
		平成30年	15	21	16	8		60%	40%	
	信頼できる先生がいる	令和元年	79	77	33	20		75%	25%	
		平成30年	19	18	15	8		62%	38%	
	よくほめてくれる先生がいる	令和元年	79	84	32	14		78%	22%	
		平成30年	20	21	13	6		68%	32%	
	しかってくれる先生がいる	令和元年	96	84	23	6		86%	14%	
		平成30年	21	23	11	5		73%	27%	
	人としての生き方や命の大切さ、社会のルールを教えてくれる	令和元年	93	100	14	2		92%	8%	
		平成30年	29	19	7	5		80%	20%	
わからないことを丁寧に教えてくれる先生がいる	令和元年	101	85	20	3		89%	11%		
	平成30年	30	18	8	4		80%	20%		
教え方をいろいろ工夫してくれる先生がいる	令和元年	103	84	17	5		89%	11%		
	平成30年	31	19	6	4		83%	17%		
学校では、体罰が行われていない	令和元年	110	80	12	7		91%	9%		
	平成30年	35	17	5	3		87%	13%		
5 教育相談について	保健室は利用しやすい	令和元年	107	52	37	13		76%	24%	
		平成30年	26	23	8	3		82%	18%	
	教育相談室は利用しやすい	令和元年	75	71	43	20		70%	30%	
		平成30年	18	22	18	2		67%	33%	
	学校は安心していられる場所である	令和元年	69	91	29	20		77%	23%	
		平成30年	19	23	13	5		70%	30%	

評価項目	評価の観点	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない				←好評価 グラフ 低評価→		+	-
			A	B	C	D				
6 家庭・地域との連携	地域の行事等に積極的に参加している	令和元年	70	83	37	19			73%	27%
		平成30年	20	20	16	4			67%	33%
	家では学校のことをよく家族で話し合う	令和元年	76	71	32	30			70%	30%
		平成30年	18	23	10	9			68%	32%
学校からの便り、連絡等は家に届けている	令和元年	72	80	35	22			73%	27%	
	平成30年	26	22	10	2			80%	20%	
八重山農林高等学校は、地域から高く評価されている	令和元年	123	71	10	5			93%	7%	
	平成30年	25	27	6	2			87%	13%	

【その他、学校への意見や要望等】

- ・建て替えてほしい。トイレぐらいはきれいにしてほしい。
- ・保健室に人が多くて、体調悪い時に休むことができない。
- ・学校行事をもっと多く取り組んで欲しい。
- ・眩しいのでカーテンが両側にほしいです。
- ・3年間思っていたのですがこんなにいい学校なのに中学生や中学校の教員からの評価が低くてとても悲しいです。
- ・体験入学以外で中学校に八重農の良さをアピールできるイベントやなどがあればいいなと思います。
- ・校内放送を聞き取りやすくして欲しい。

(別紙様式)

令和元年度学校評価の実施状況等調査

学校名	八重山農林高等学校
記載者名	教頭 山城 篤

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	1	1	50	0	0	53

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	4	6	0				10

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	77	209	0				286

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他(PTA総会にて提示)
学校関係者評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他(PTA総会にて提示)

5 平成30年度の学校評価を踏まえ、令和元年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

①生徒確保に向けた体験入学のあり方など、学校PR及び生徒募集活動の工夫改善
②「県立高等学校生き生き活性化支援事業」2年目の取り組み
③「生徒支援会議」等を活用した、生徒の実態把握(関係機関との連携等)
④関係機関・外部団体を有効活用した職員研修及び生徒向け講話の実施

6 令和元年度の学校評価で明らかになった課題

①基礎学力の向上及び基本的生活習慣の確立(継続課題)
②内規の見直し及び教育課程の再点検(AS・AT系列の見直し等)
③生徒募集活動の充実
④学習環境の整備 施設・設備の充実
⑤働き方改革の推進に向けた学校行事の精選や業務の明確化、適正化

7 令和元年度の学校評価を活かした令和2年度の改善点

①基礎学力向上を見据えた学び直しや特別支援教育の充実
②内規の見直し及び新学習指導要領に即した教育課程と学校設定科目の見直し
③体験入学のあり方など、学校PR及び生徒募集活動の工夫改善
④ユニバーサルデザインを導入した学習環境の整備 施設・設備の充実
⑤校務分掌等の見直しや再編ならびに会議等の精選や運営改善